

# 平成29年度 第2回読書活動支援者育成事業地区別研修会 実施報告書

(南会津) 教育事務所

1	実施期日	平成29年10月19日(木)	時間: 10時00分~15時40分
2	会場	御蔵入交流館 多目的ホール	
3	出席者数	総出席者数 計 33名 (男性8名 女性25名)	
(内訳) 講師(1名)、読書・読み聞かせ・図書ボランティア(17名)、小学校教員(3名)、学校司書(2名)、放課後子ども教室指導員(1名)、南会津町図書館職員(1名)、図書サポートティーチャー(1名)、南会津町教育委員会(1名)、下郷町教育委員会(1名)、只見町教育委員会(1名)、南会津教育事務所(4名)			
4	研修会概要		
<p>○ 開会式 (10:00~10:10)</p> <p>(1) 開会のことば (2) 主催者あいさつ (3) 日程説明・諸連絡</p>			
<p>○ 研修</p> <p>(1) 講演 I (10:10~12:00)</p> <p>・ 講師紹介 ・ 講演 「子どもと本をつなぐ読み聞かせとブックトーク」  <span style="float: right;">桜の聖母短期大学非常勤講師 邊見 美江子 氏</span></p> <p>・ 質疑応答 ・ 御礼のことば</p>			
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p>【内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>子どもにとって読書とは                     <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 読書(本を読む)    ○ どんなときに読むか    ○ 本(絵本)の力</li> </ul> </li> <li>子どもと本(絵本)の出会い                     <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 幼い子が本(絵本)と出会うには、出会わせてくれる大人が必要</li> <li>○ 家庭で家族がその子の興味や発達段階に合った本(絵本)と一緒に楽しむのが一番</li> <li>○ 図書館・幼稚園・学校(図書館)等で、職員・ボランティアの方々に、本との出会いを作ることが求められている。</li> </ul> </li> <li>読書活動ボランティア(読み聞かせボランティア・読書活動支援者等)の力                     <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 読書活動ボランティアに願うこと</li> <li>○ 図書館・学校等(受入側)に願うこと</li> </ul> </li> <li>読み聞かせの本を選ぶ                     <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 読み聞かせとは</li> <li>○ 図書館で所蔵している本を選ぶ</li> <li>○ 各種の参考図書を活用する</li> <li>○ 福島県立図書館の紹介</li> <li>○ 子どもの心をひきつける普遍的な力を持つ長く読み継がれてきている作品を大切に</li> </ul> </li> <li>読み聞かせの心構え</li> <li>物語の読み聞かせ(耳からの読書)</li> <li>ブックトーク                     <ul style="list-style-type: none"> <li>○ ブックトークとは    ○ 意義と目的    ○ ブックトークの実演</li> <li>○ ブックトークをするために</li> </ul> </li> </ol> </div>			
<p>○ 昼食 (12:00~13:00)</p>			
<p>(2) 実践発表 (13:00~14:50)</p> <p>・ 実践発表 「只見町の取組について」  <span style="float: right;">元只見町図書サポーター 菅家 成美 氏                      只見中学校学校司書 赤井 沙織 氏</span></p> <p>・ 質疑応答 ・ 御礼のことば</p>			



## 【内容】

<元只見町図書サポーター 菅家成美氏より>

「只見町の取組について～スタートから3年間を振り返り～」

1. 只見町の読書活動についての思い
  - 平成26年1月26日付「只見町子ども読書推進計画」を策定
2. 図書サポーター(愛称:ブックソムリエ)の誕生
  - 業務内容(学校・地域・その他)
3. 図書サポーターから学校司書へ
4. さいごに



<只見中学校学校司書 赤井沙織氏より>

「魅力ある学校図書館をめざして～学校図書館の役割～」

1. 読書と学力の切っても切れない関係
  - 全国学力・学習状況調査での調査結果から
  - 小学生にとっての学校図書館とは
2. 学校の紹介
3. 学校図書館の役割
  - 学校図書館は「学習」と「くつろぐ場所」両極の働きが求められる特殊な空間
4. 郡山市立赤木小学校での実践
  - 環境整備、学習サポート、図書サポート、児童会
  - 授業での図書館活用
5. 只見町立只見中学校での実践と今後の目標
  - 4月から10月までの実践
  - 今後はさらに…



## ○ 休憩 (14:50～15:00)

(3) 情報交換・意見交流 (15:00～15:30)

- ・ 情報交換「現在の状況をそれぞれの立場から紹介」
- ・ 意見交流「私たちの町(村)のこれからの取組について」

## ○ 閉会式 (15:30～15:40)

- (1) 諸連絡
- (2) 閉会

## 5 感想

### 【講演 邊見 美江子 氏】

- 学校とボランティアの連携、そして行政側との連携の大切さを改めて実感した。
- 選書の工夫、読み聞かせをする心構えなどわかった。
- 読み聞かせとブックトークの実際を見せていただけて嬉しかった。心にしみる本を選んで読むことを心がけたい。
- 自己満足にならない。読み手が主役ではなく、絵本と聞き手が主役であるなど勉強になった。
- ブックトークの話は実例を見せていただけて良かった。実際にやってみたいと思った。
- 年齢にあった本を選ぶのが難しく感じていたので、県立図書館のホームページなど参考にしたい。
- 楽しくためになる講演だったので、もっと多くの人たちに聞いてほしいと思った。
- 読み聞かせの子どもの一生の中での意義・効果が大きいことに改めて驚かされた。
- 邊見先生が実際にブックトークをしてくださったことで、その奥の深さや楽しさに気づいた。
- 読み聞かせとしての姿勢(選書、読み方など)大変勉強になった。
- 読み聞かせなどを取り入れながら、優しく温かみのあるお声での講演、大変参考になった。子どもたちと一緒に楽しさを共有しながら本に出会わせてあげられる手伝いをしていきたいと思った。
- プリントもあって非常にわかりやすかった。今後も参考になるいい資料だった。
- パペット劇など意外な方法で子どもの興味を引いているようで興味深かった。
- なかなかブックトークの勉強をする機会がなかったので良かった。
- 毎回選書で悩んでいたが、お話を伺って方向性がわかってきた気がする。

#### 【実践発表 菅家 成美 氏 ・ 赤井 沙織 氏】

- 読み聞かせを担当している側とすれば、季節の本やおすすめの本、学習に沿った本など整理され、借りやすい環境を整えられているのが本を選ぶにあたりわかりやすく良いと思った。
- 若い先生の熱心な取組が大変すばらしいと思った。
- 只見町の小中の学校図書館の取組、学校司書さんがいる学校での取組のすばらしさ、児童・生徒の変容の大きさに驚いた。学校司書さんのいない我が校では参考にできるところを実践していきたい。
- 只見町のボランティアの方々の熱心な活動が実を結び、現在のようになったのだとしみじみと感じた。学校司書の方が入ってからこのこれからの只見町の読書活動はますます発展することだろう。
- 行政が入ったの只見町の取組が大変参考になった。
- 具体的な実践を知ることができ、大変参考になった。それをどう生かしていくか村の現状もあり、難しい(人数が少ない)こともあるが、できるところから取り組んでいこうと思う。
- 只見中学校の実態と取り組み内容等をもっと知りたかった。赤木小学校での赤井先生のアイデア、行動力に感心した。只見中学校での取り組みも早く軌道に乗ることを望む。
- 今後の只見中学校の取り組みは、ひいては町の発展につながるものと期待している。「地方こそ図書整備」の言葉に強く感動を覚えた。
- 具体的な取組、特に各団体との協力により達成できた事例を知ることができた。
- 只見中学校の状況も含め、町内のことがわからずにいた。本当にすばらしいと思った。
- ブックソムリエとして頑張ってくださっていた菅家さんの様子はいつも見ていたが、見えないご苦労もよくわかった。改めて感謝である。
- 大きな学校から小さな学校への異動ということで、赤井さんも苦労されている様子がよくわかった。今後も図書の整理は大変だと思うが、楽しく学べる図書館作りに努めていただきたい。
- 只見町に図書館はないけれど、その分、振興センターや学校図書館への図書費を充実してくださっていることを知った。只見町の各小学校の本の充実はそのためだったのかと判明し、スッキリした。
- 只見中学校の図書室が生き生き。自分の息子や娘を連れて行ってみたいと思った。

#### 【情報交換・意見交流】

- 実の入った話題が出なかったけれど、参加者の皆さんの考えや行動は前向きだったので良かった。
- 学校の思い、地域の思いや願いを共有することができて良かった。
- 普段交流があまりない各地区の方たちから意見を聞くことができて良かった。
- 立場の違う方々と話ができて楽しかった。
- 今までの活動、これからの活動など確認し合えて良かった。
- みんなの悩みや意見を聞くことができて良かった。

#### 【御意見・御要望】

- 実践的な内容で良かった。
- 絵本の大切さは漠然と理解していたが、具体的に本の力として言葉の獲得、想像力を育てる、体験・経験を豊かにする、感受性を豊かにする、信頼感を育てる、生きる力を育てるのに役立つなどの意味が知れたことが良かった。
- こういった話し合いの場や専門の先生方の話を聴く場をもっともっと設けてほしい。
- 我が小学校では、県の事業を活用したサポートティーチャーの方が、朝の読み聞かせの後で図書室の本の整理をやってくださっている。それだけでもとても助かっている。まだ一部の学校にしか学校司書が配置されていない状況の中で、苦労をして図書の活用を広める工夫をしていたことが、いつか昔話となる時代が来ることだろう。
- 我が町でも学校図書のパソコンでの蔵書管理の予定があったら、まだ余力はあるので、入力作業のお手伝いボランティアを請け負いたい。
- 学校司書の大切さを学んだ。
- 講演・実践発表とも参考になった。それをどう生かしていくかが課題だと思った。資料だけではわからない部分もあるので、実際に只見町の小中学校に伺ってみたい。
- 研修会に参加するメンバーが昨年とあまり変わらないことが残念だった。読書活動をされている方はもっと町内にはいるはず。そういった方も含め、多くのメンバーに出席いただけることを望む。
- 図書ボランティアを始めたばかりだったので、いろいろな情報を得ることができて良かった。
- 講演会は大変今後の活動に役立っていくと思うので、今後も研修会に参加させていただきたい。
- 気楽に参加させていただいた。皆さんよくお話をされていて雰囲気良かった。

## 6 成果・課題

### 【アンケート結果】

#### ◇講演について

大いに参考になった 21名    ある程度参考になった 2名    参考にならなかった 0名

#### ◇実践発表について

大いに参考になった 13名    ある程度参考になった 6名    参考にならなかった 0名

#### ◇意見交流について

大いに参考になった 10名    ある程度参考になった 1名    参考にならなかった 0名

### 【成果】

- 今年度1回目にいただいたご意見を踏まえながら、少しでもそのニーズに応えるべく第2回目を企画した。参加者は多くはなかったが、参加いただいた方々にとってはかなり実りある研修会となった。
- 只見町の取組について実践発表をしていただいたおかげで、他町村に少なからず刺激を与えることができた。

### 【課題】

- 毎回参加者の顔ぶれが変わらない状況である。学校関係者も含め、新規の参加者を増やせるような手立てを考えねばなるまい。
- 読書活動ボランティアの方に多く参加いただき、研鑽を積んでいただいているが、学校関係者の参加者が極端に少ないために学校現場まで浸透させるには至っていない。各学校1名の悉皆研修とすれば、さらに実りある研修会となるはず。旅費について検討いただきたい。

